

# 令和7年度 事業計画 主要事項

社会福祉法人鳥取県厚生事業団

## 基本理念

すべての利用者の個人の尊厳を保持しつつ、地域社会において自立した生活を営むことができるよう支援することを基本とし、福祉サービスの質の向上を図り、もって地域福祉の推進と地域共生社会の実現に寄与します。

## 経営方針

### 【利用者主体のサービス提供】

すべての利用者の人権と尊厳を守り、利用者主体の良質な福祉サービスを提供します。

### 【地域福祉の推進】

法人の豊富な人材とノウハウを活かし、関係機関・団体等との連携による新しい福祉時代に対応した事業展開を進め、地域福祉の向上に寄与します。

### 【地域共生社会への貢献】

多様化・複雑化する地域ニーズや課題を把握し、地域共生社会の実現を目指した取組みを積極的に行います。

### 【健全で透明性の高い事業経営】

健全な事業経営と情報の公開による透明性の高い法人経営を行い、選ばれる施設づくりを進めます。

### 【人材の育成】

豊かな人間性と高い専門性を備えた人材の育成を行います。

## 重点取り組み事項

### (1) 人材確保・人材育成の推進

少子高齢化に伴う人口減少等の影響により、今後、福祉分野における人材の確保は非常に厳しい状況が予想され、当法人においても職員の確保が喫緊の課題である。

様々な広報活動や職場実習の受入れなど福祉職場の魅力発信に引き続き取り組むとともに、人材紹介業の活用や、外国人人材の雇用などを積極的に進め、人材を確保し、もって安定的な福祉サービスの維持向上に努める。

また、処遇改善交付金等を有効活用し、給与等の待遇改善を進めるとともに、ライフスタイルに応じた柔軟な勤務形態の創設など、多様な働き方に応じた支援策などを積極的に検討、導入し、離職防止や採用率の向上を図る。

職員自らが仕事にやりがいもち、資質の向上に取り組めるよう、研修体系の整備と充実、資格取得の支援、キャリアパスの仕組みづくりなどを行い、更なる人材の育成と定着を推進する。

## (2) 経営基盤の安定

近年における利用ニーズの変化等に柔軟に対応するため、伏野つばさ園はまなす作業所の本体施設への統合の実施、また、厚和寮・友愛寮の施設統合とグループホームの創設等の検討を積極的に進め、今後における法人の経営基盤の安定化を図る。

また、一部ユニットを休止している湯梨浜はごろも苑においては、早期再開を目指し、介護人材の確保に取り組むとともに、特別養護老人ホーム等の現状分析と経営改善方法の検討を積極的に行う。

令和6年度報酬・基準改正における国施策や近年の福祉の動向、また、人材確保等の状況などを踏まえながら、重度者支援をはじめとする当法人施設の強みや特色を活かすなど、地域社会のニーズに応じたサービスを展開し、もって経営の持続安定化を進める。

## (3) 虐待防止の徹底

法人及び施設として、いかなる虐待も許さない姿勢のもと、引き続き、虐待防止要綱及び指針、関係法令等に基づき、利用者の権利擁護の推進と虐待防止の更なる徹底を図る。

これまで取り組んできた虐待防止チェックシート等の取組みを継続するとともに、複雑・多様化する虐待事案に対応すべく、職員に対する権利擁護教育や虐待防止・身体拘束適正化等の研修を充実させ、虐待防止強化の具体的な実践を着実に進める。

また、虐待発生の起因となる職員のストレス軽減のため、ストレス要因の高い労働条件の見直しや、職員間のコミュニケーションの円滑化、情報共有化を積極的に行い、更なる風通しのよい職場づくりを目指し、環境の改善に取り組む。

## (4) 業務の効率化、生産性向上の推進

人材不足の影響や、今後における持続可能な介護・支援体制を構築するため、業務の効率化は必要不可欠である。

介護ロボットやICT等のテクノロジーを積極的に活用し、業務の改善や効率化等を進め、職員の業務負担軽減と、生み出した時間を直接的な介護・支援業務に充てサービスの質の向上に繋げるなど、生産性の向上を一層推進する。